

8 - 2 中部・近畿地方の地殻変動

Crustal Movements in the Chubu and Kinki Districts

国土地理院

Geographical Survey Institute

第1図は名古屋周辺の水準測量結果である。ここ2年間は名古屋から見て、岐阜側が沈下している。

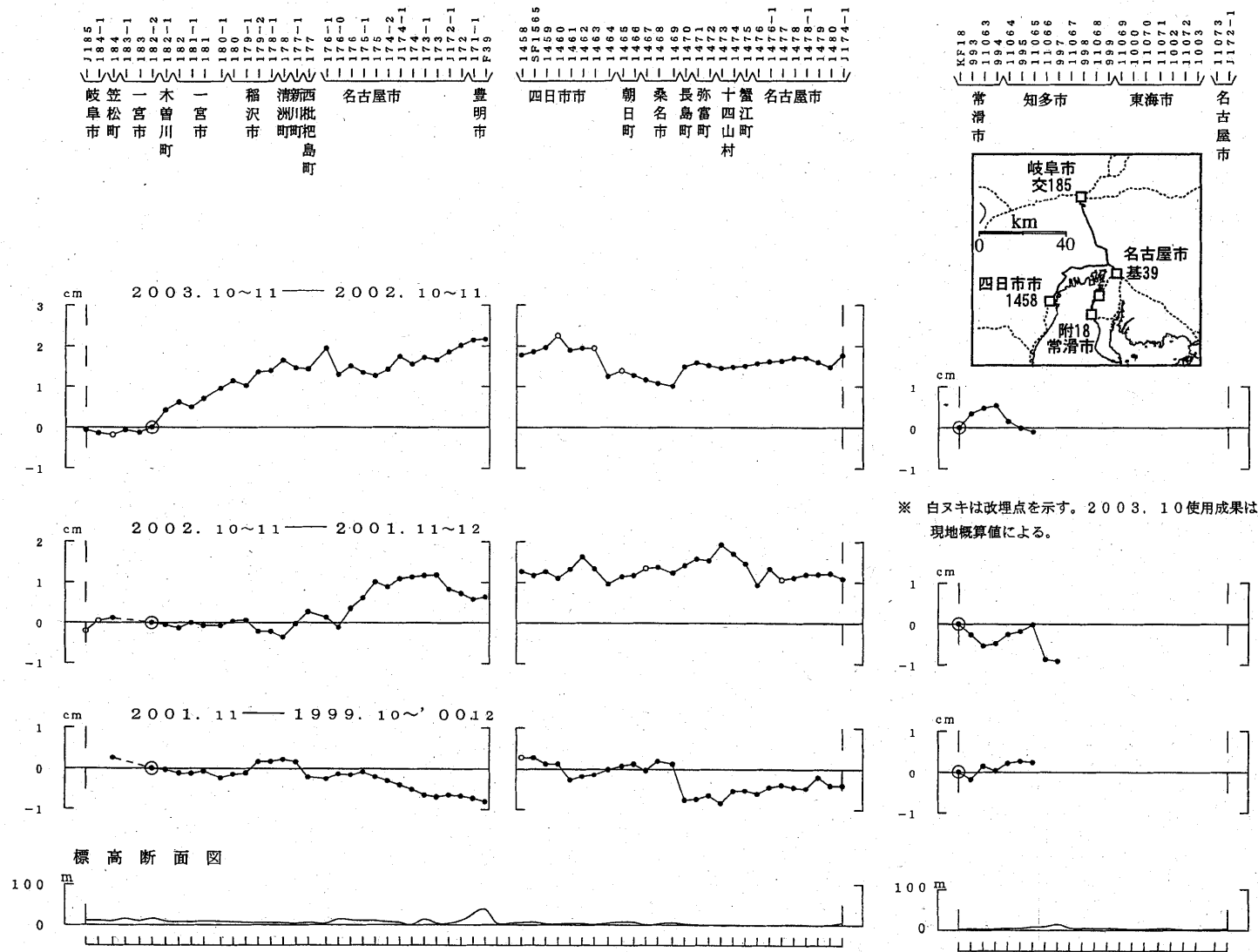
第2図は大阪周辺の水準測量結果である。特段の変化はない。

第3図は、紀伊半島南部の上富田町から串本町に至る水準測量結果である。半島先端の串本側が継続的に沈下している。これは、南海トラフ沿いのプレート沈み込みを反映していると思われる。

第4図は、紀伊半島東岸の朝日町(1466)から西岸の海南市(F14)に至る水準路線における測量結果の時系列である。前回報告では、西岸の上富田町(9188)から見てここ20年間半島先端の串本側が継続的に沈下していることを報告したが、東岸の海山町(4772)から見てもここ20年間はわずかに沈下である。南海トラフ沿いのプレート沈み込みを反映していると思われるが、東岸の路線で見て半島先端側の沈下があまり大きくないのは、路線が海溝軸と並行する方向に進んでいるためと思われる。比較のために、中国・四国・九州地方の項に集録した室戸岬周辺の水準測量結果の時系列(第1図)も参照されたい。

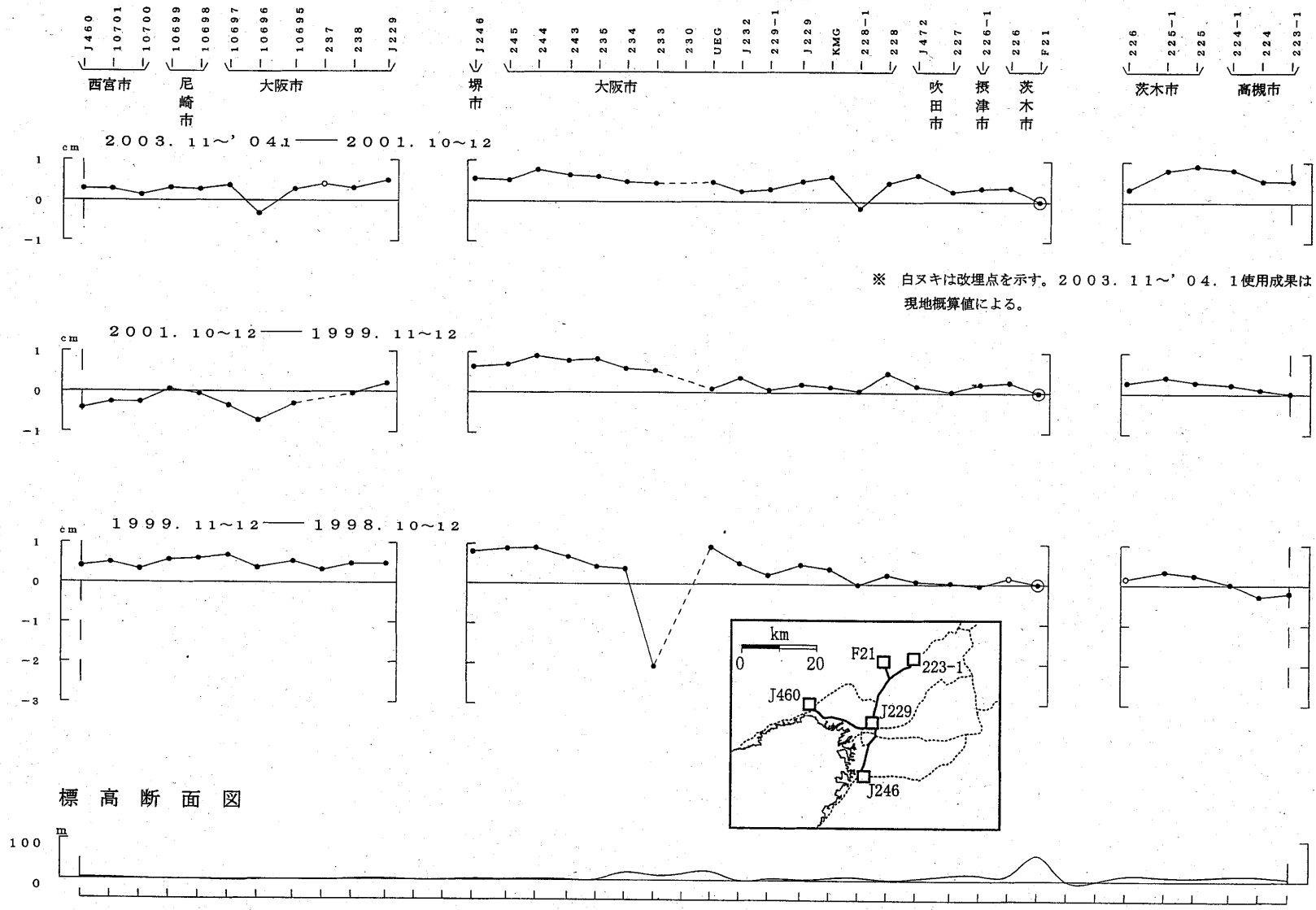
紀伊半島南部における高度基準点測量結果から求めた地殻水平歪みについては、四国地方南部と併せて中国・四国・九州地方の項に掲載した。(第4図)

中京の上下変動



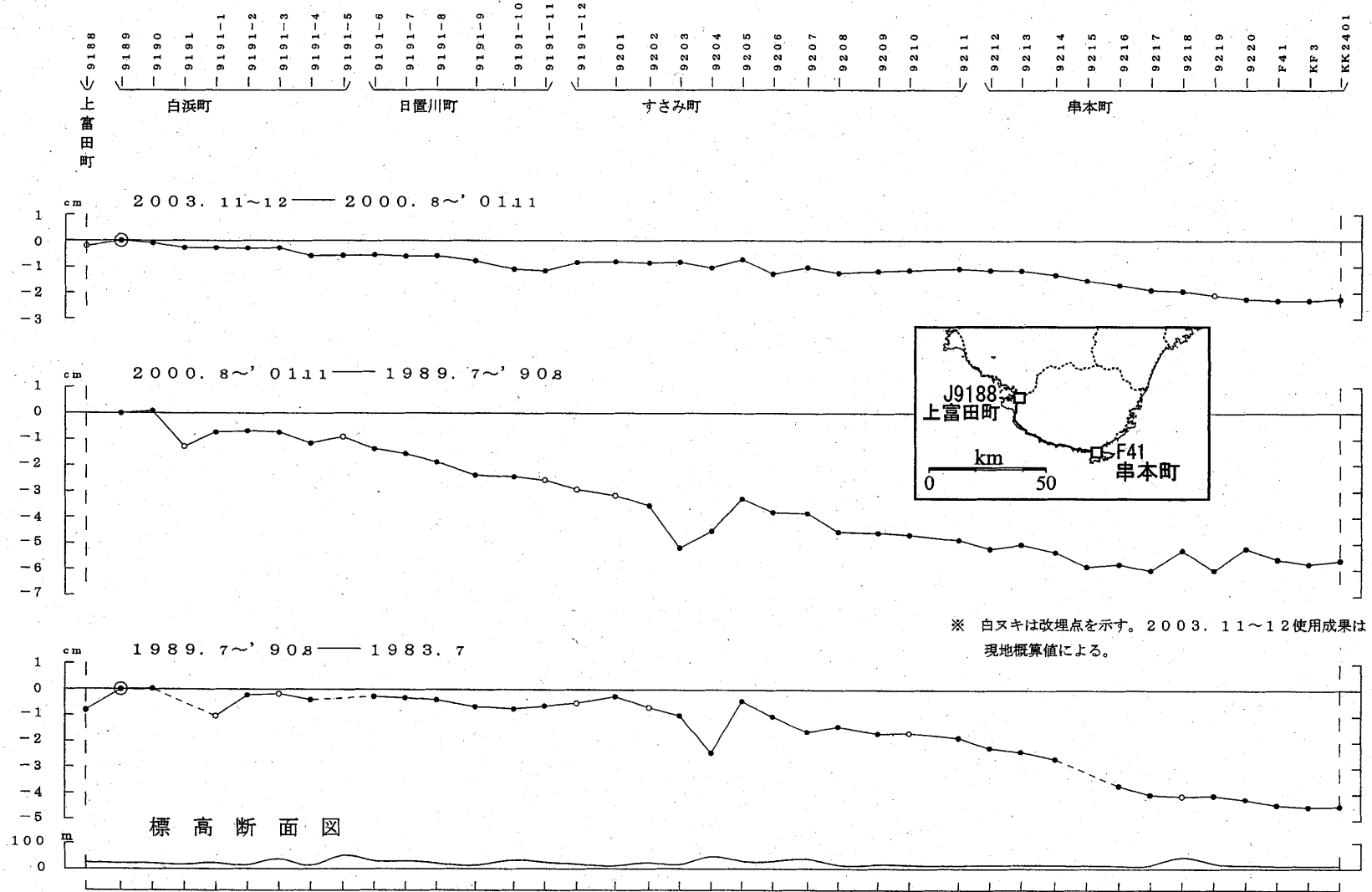
第1図 名古屋周辺の水準測量結果
Fig.1 Results of Precise Leveling around Nagoya.

阪神の上下変動



第2図 大阪周辺の水準測量結果
 Fig.2 Results of Precise Leveling around Osaka.

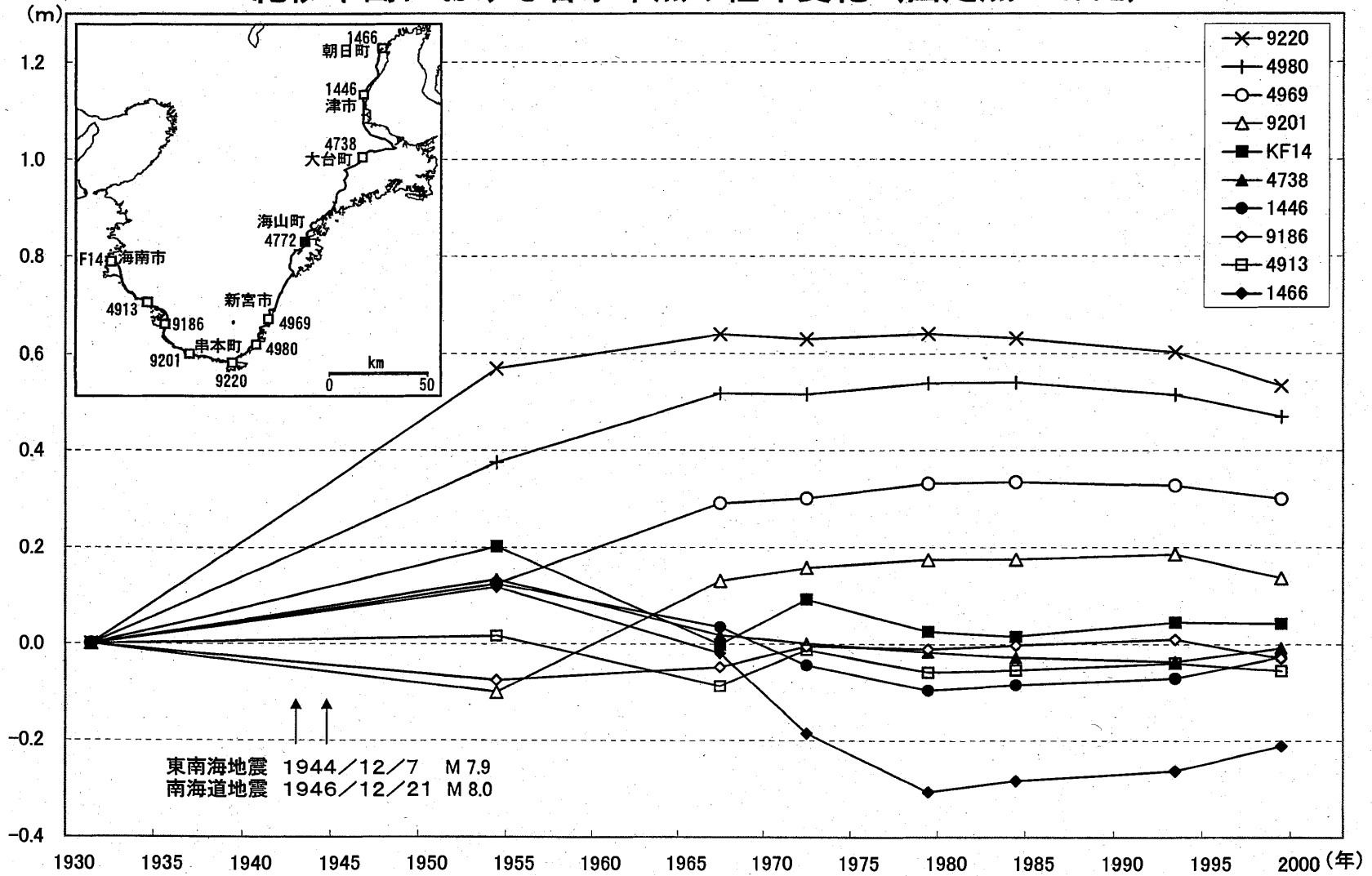
上富田町～串本町間の上下変動



第3図 紀伊半島南部の水準測量結果

Fig.3 Results of Precise Leveling in Southern Kii Peninsula

紀伊半島における各水準点の経年変化（固定点：4772）



第4図 水準点4772（海山町）を基準とした紀伊半島沿岸の水準点の上下変動時系列

Fig.4 Time series of height change of bench marks along the leveling route on the coast of Kii Peninsula from BM1466(Asahi) to F14(Kainan) referred to BM4772 (Kaizan).